

【収入保険】私の選択・加入者の声



「あらゆるリスクに備えて」

【福岡県朝倉市

(有)オクノ 代表取締役 奥野 和美さん (53)】

経営規模＝タデ（ハウス8棟）

妻と息子と一緒に、パート従業員を雇用しながらタデを栽培しています。タデは薬味や刺し身のつまとして用いられ、JA筑前あさくら紅たで部会で全国の8割以上を生産しています。

タデは、収穫適期を逃すとすぐに色が変わってしまうので、播種から収穫、調製作業まで時間との勝負です。また、種から発芽した幼芽を収穫するので、発芽率が悪いと収量が落ちます。

今年、県の野菜生産出荷安定事業から収入保険に移行しました。近年は豪雨被害が頻発するなど、予想もつかない災害に見舞われる心配があります。収入保険は災害だけでなく、けがや病気による収入減少にも備えられるので、安心して栽培に励めます。

（農業共済新聞 [九州北部版] 2019年8月4週号より抜すい）